

北之庄城の歴史・城主

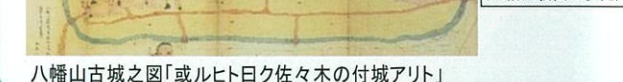
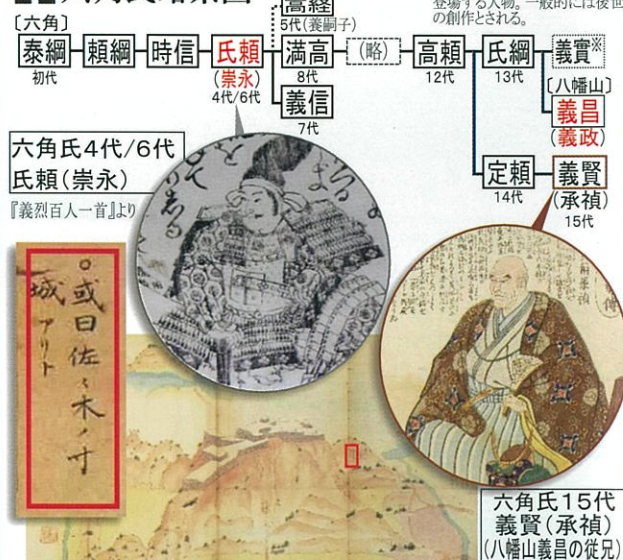
本城の成立に関しては、同時代の資料を欠き、詳細は不明です。「謎の山城」と呼ばれる所以です。時代は下りますが江戸期の資料は何点か見つかり、八幡山を描いた絵図に「佐々木六角ノ付城アリ」と付記されたものがあり、江戸前期成立の「淡海温故録」に「六角崇永^{※1}が岩崎山に城を築き在城」「六角氏綱の二男八幡左馬頭義昌^{※2}が後口の岩崎山に在住にて八幡宮を守護」との記事が見えます。

なお、上記文献にいう「岩崎山」の所在については長らく未確定で、八幡山とする研究者もありました。現在は、正面の八幡山に対して、その背後の山城全体(北之庄山を含む広義の岩崎山)を指すとして「岩崎山城(文献から)＝北之庄城(遺跡名)」との考えが定着しています。

※1 六角氏頼…法名が崇永。南北朝時代の守護大名、近江国守護。六角氏4代・6代当主。永源寺を建立。

※2 八幡義昌…八幡山義昌、川端(河端)義昌(義政)とも。六角氏綱(戦国大名、近江国守護、六角氏13代当主)の二男。織田信長の近江進攻に抵抗した六角義賢(承禎、六角氏15代当主)は従兄。

六角氏略系図



七つ池の昔話

下段曲輪の西虎口前から中央部にかけて「七つ池」と呼ばれる円形の池(くぼみ)が6つ、サイコロの6の目状に並びます。地元には次のような話が伝わります。

昔、城主の幼い姫様がオコボ(ぼり)を履いて池に遊びに来たところ、誤って池に落ちて亡くなったと云う。

「北之庄町の昔話と伝説」より



近江中世城跡琵琶湖一周のろし駅伝

毎年11月23日に中世城跡を擁する滋賀県内各地区が参加して、狼煙(ろし)で琵琶湖を一周する「琵琶湖一周のろし駅伝」を開催しています。北之庄城は第1回から参加しており、城跡整備を進める「北之庄里山を守る会」が主体となり、北之庄山山頂を狼煙会場として関連イベントも実施しています。

当日は、本城南側、平野部の瓶割山城(柴田勝家が六角氏の攻勢を受け籠城)の狼煙を確認して、本城西側、湖岸の水茎岡山城(足利將軍義澄が拠り、義晴が誕生と伝わる)に狼煙を繋ぎます。



登城ルート案内

①北之庄神社登山口から(尾根ルート)

北之庄神社(近江八幡市北之庄町1097)正面の石段を上がって右奥へ進む。上段曲輪(北之庄山頂)への最短ルート。所要20～30分。よく整備され、途中2か所の展望のよい休憩所があります。城跡へのメインルートです。登山口から人気のラコリーナへは東へ約500m。

②岩崎登山口から(谷ルート)

ヴォーリズ老健センター(近江八幡市北之庄町492)西側奥。打越峠で八幡山縦走路に合流し、南へ進んで上り切ったところが下段曲輪の北東櫓台です。

③八幡山城北の丸から

三角点のある北の丸から縦走路を北へ下り、高取峠から上り返すと、北之庄神社からの登山道と合流して、上段曲輪に達します。北の丸からの所要30～40分。



北之庄里山を守る会: 523-0806 滋賀県近江八幡市北之庄町1097(北之庄公民館内)
北之庄公民館(北之庄神社登山口): JR近江八幡駅から北へ3km、近江バス長命寺行で20分、ラコリーナ前バス停下車東へ500m



城跡所在地: 滋賀県近江八幡市北之庄町～南津田町(北之庄山頂部一帯)

近江の城50選謎の中世山城近江北之庄城(岩崎山城)

「土のお城」…北之庄城は、八幡山北東の尾根続き、北之庄山の山頂部に六角氏によって築かれたとされる中世山城です。山を削り土を盛って築いた、いわゆる「土のお城」です。土壘、堀切、土橋、枡形虎口などの遺構が大変良好な状態で残り、見どころが豊富です。以前は樹木に覆われて隠れていましたが、北之庄里山を守る会による城跡整備が進み、遺構が「見える」ようになりました。

「土のお城」が見えるマップ
土橋・大堀切・上段曲輪・枡形虎口・七ツ池

北之庄城

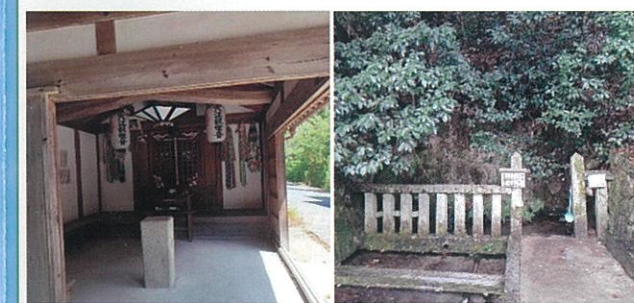


2025年6月発行 北之庄里山を守る会(近江八幡市北之庄町)
この事業はふるさと納税寄付金を活用しています(2025年)



「往還」散歩(長命寺街道)

北之庄山・岩崎山の東麓には、長命寺への巡礼道であった古道「長命寺街道(往還)」が通じ、地元では「往還」と呼びます。この北之庄神社から岩崎登山口へ向かう道沿いには、朽木氏陣屋跡、大江(おいえ)の泉、大江観音堂、瘡(かさ)観音堂(南北朝時代の観音像)、高木地蔵尊などの名所・旧跡やヴォーリズ夫妻が眠る恒春園など見どころが並びます。



近江の城50選 謎の中世山城

北之庄城跡

「土のお城」が見えるマップ

北之庄里山を守る会(滋賀県近江八幡市北之庄町)

八幡山縦走路 ●●●● 城内散策路 ●●●●

オオイワカガミ(北東櫓台 4月頃)

北西櫓台

北虎口

北東櫓台

琵琶湖・
水荖岡山城方面の展望

★名所「セツ池」

下段曲輪の西虎口前から中央部にかけて「セツ池」と呼ばれる円形のくぼみが、サイコロの6の目状に6つ並び、城の水の手と考えられています。江戸時代の近江国の絵図には、名所として記載があります。

アセビ(左)・ミツバツツジ(右)(西側土塁4月5月頃)

上段南櫓台
(北之庄山山頂)

西側水荖岡山
城方面の展望(東側は瓶割
山城方面に展望が開けます)

★大堀切

上段曲輪は、深い大堀切と空堀で尾根筋から遮断され、南出曲輪と土橋で接続。土橋の上が上段南櫓台で、西に水荖岡山城、東に観音寺城、南に瓶割山城、南東に星ヶ崎城を見通します。

★土橋・南櫓台

上段曲輪は、深い大堀切と空堀で尾根筋から遮断され、南出曲輪と土橋で接続。土橋の上が上段南櫓台で、西に水荖岡山城、東に観音寺城、南に瓶割山城、南東に星ヶ崎城を見通します。

岩崎山へ

北東櫓台

北西櫓台

北虎口

下段曲輪

セツ池

西虎口

中段曲輪群

東虎口

大手道

上段虎口

上段曲輪

空堀

大堀切

南櫓台

堀切

土橋

出曲輪

八幡山へ

西の湖・観音寺
城方面の展望

★東樹形虎口 (大手門)

下段曲輪は、北、西、東の三方に虎口を備えます。大手門と考えられる東虎口は、高さ3mを越える土塁によって見事な内枳形を構成します。中世山城に織豊期の特徴とされる進歩した形式の虎口の存在は、本城跡最大の謎とされます。これに関しては、豊臣秀次の八幡山城との関連も示唆されます。

(下段曲輪側)

東虎口(大手門)

上段曲輪

空堀をぬけて大手道に
合流し、大手門へ出られます

土橋・空堀